



デジタル機器，誰もが買った日から 使える機器であってほしい

■ 若宮 正子



私と情報処理学会様とのご縁

私と情報処理学会様とのご縁は 2000 年に遡ります。

貴学会様の「第 60 回全国大会」のパネル討論「情報アクセシビリティ—高齢者，障害者からはじまる情報パラダイム—」にパネリストとしてメロウ倶楽部を代表して出させていただいたのです。以来，引き続き「高齢者の情報アクセシビリティ問題」に取り組んでおります。

なお，その際，私がメロウ倶楽部に投稿しました「情報処理学会パネル討論出席報告」が，まだ当倶楽部の，アーカイブ集に残っておりましたので稚拙ではございますが，ご覧いただけましたら光栄でございます。

<http://www.mellow-club.org/archives/joho/index.htm>

81 歳で，なぜアプリ開発を？

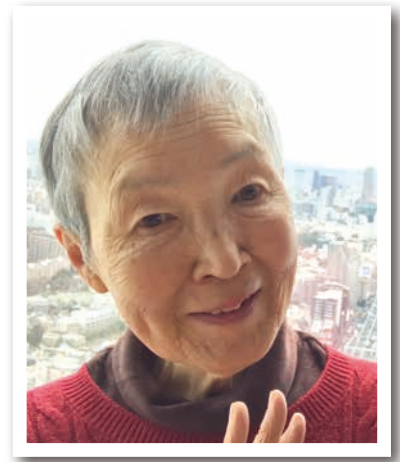
メロウ倶楽部の活動とは別に私は「NPO ブロードバンドスクール協会」の理事もしております。ここでは，ささやかではありますが，ハイシニアの方々への「デジタル機器の利活用」のお勧めとサポートをしております。その中で「シニアが楽しめるアプリが少ない」という声を聞く機会が多いのです。そこで，若い開発者の方々に「何かシニアが喜びそうなアプリを作ってよ」とお願いし続けていました。

そんなあるとき「若宮さんが自分で作ればいいじゃないですか。分からないところは僕が教えますよ」と言ってくださる方が現れましたので自分で作ることにしたのです。

もともと「エクセルアート」の創始者であり「自分で何かを作る」ことは大好きだったのですが，まったくプログラミング経験のない私にとってはハードルの高い仕事でした。なお，先生は我が家から 300km も離れた宮城県におられ

■ 若宮 正子
NPO ブロードバンドスクール協会 理事

1935年東京生まれ。1954年筑波大学付属高等学校卒業。同年4月三菱銀行（現三菱UFJ銀行）入社。1997年同行定年退職。定年直前パソコンを購入。ネット上の老人クラブ「メロウ倶楽部」に入会。2017年2月iPhoneアプリ「hinadan」を公開。2018年2月国連社会開発委員会で基調講演を行う。メロウ倶楽部副会長。NPOブロードバンドスクール協会理事。



たので、スカイプなどを使った「遠隔授業」で教えていただきました。友人たちも「アイコンの雛人形の元画像」を描いてくれたり、ナレーションを引き受けてくれたりといろいろな面で助けてくれました。

お陰様で、なんとか、Apple社の審査にパスして公開することができたのですが、こんなアプリ一つで、まさか世界中で有名になるなんて想像もしていませんでした。

デジタル機器、誰もが買った日から使える機器であってほしい

1905年生まれの母も、銀行ATMの出現、鉄道の出札・改札の自動化の際には、それなりに苦労していたようです。ATMの前に並んでいて自分の番が近づくとちゃんと操作ができるか不安でドキドキしたと話していました。しかし、半年もすると、当たり前のように自動改札を通り抜け、ATMを操作できるようになったのでした。

2011年にも「テレビの地デジ化」直後に、使いにくくなった「リモコン」の操作を必死で覚えたハイシニアの皆さんがおられたのです。

昨今は、思うように動いてくれないスマホと格闘している多数のシニアがおられます。

会員の皆さまへのメッセージ

こういうシニアの悩みと奮闘ぶりに、製作者側の皆さまが思いを致してくださるように切におねがいしたいです。今後は、IoTが茶の間にも台所にも進出してくるようになるかと聞いています。

ぜひ、これから登場する機器につきましては、誰もが買ったその日から使えるものであってほしい、操作マニュアルなどなくても使えるものであってほしいと思います。